

ISSEIKAI

つながりを育む福祉の広報誌——介護と保育の現場から



社会福祉法人一誠会

Green Days 132th

特集

施設の枠を越えて広がる学びとつながり



ロコと楽しい仲間たち ロコの部屋

一誠会の看板犬 中年の星ロコさん

去る6月9日(月)、第二偕楽園ホームで暮らす一誠会の愛犬ロコちゃんが誕生日を迎えました。

11歳になったロコちゃんは小型犬で人間の60歳にあたるそうです。

すっかり中年となりましたが、これからも看板犬としてご利用者や職員の癒しとなり「中年の星」として元気に活躍してほしいです。



犬がそばにいただけで心が和み、自然と笑顔や会話が広がります。癒しと安心を届ける存在です

Event イベントスケジュール (8月・9月の一誠会からのお知らせ)

◆行事の開催予定 ※各事業所から、別途、詳細をご案内いたします。

8月23日(土) 17時00分～19時00分 社会福祉法人一誠会 納涼夏まつり【場所】偕楽園ホーム駐車場 地域の方も歓迎します。

9月 敬老会【場所】偕楽園ホーム/第二偕楽園ホーム/初音の杜(通所・グループホーム)/八王子市高齢者在宅サービスセンター中野

9月 彼岸法要【場所】偕楽園ホーム 機能回復訓練室

職員紹介～注目の人～

今回はインドネシア出身の技能実習生を紹介いたします。

偕楽園ホーム 介護課
介護職員

インタンアグリシアラディ

介護職は人の役に立つ高貴な仕事だと思います。まだ日本語は得意ではありませんが、ご利用者とのコミュニケーションが大切なので毎日日本語を覚えるように一生懸命頑張っています。信頼される介護職を目指し努力を続けます。



偕楽園ホーム 介護課
介護職員

クルニアアラファー

私は小さいころからお年寄りとお話するのが好きで、介護の仕事をやりたいと思いました。私は介護分野での経験はまだありませんが、介護者として成長し、これからもご利用者の皆様に喜んでいただけるように精一杯頑張りたいです。



◆地域交流会(万講座)の開催◆

日時	令和7年8月16日(土)	令和7年9月13日(土)
内容	ユマニチュード 認知症の方を理解し安心できるケアの技法	介護予防
講師	日野市立病院 看護部 看護科長 小林多紀氏	社会福祉法人一誠会 偕楽園ホーム 理学療法士 佐々木 要
場所	偕楽園ホーム	偕楽園ホーム
時間	14時00分～15時30分	14時00分～15時30分

本会主催の行事や講座については、新型コロナウイルスの影響拡大に鑑み、開催を延期や中止させていただくことがあります。また、お申込みいただいた皆様には、延期後日程が決定次第、別途ご案内させていただきます。なお、感染症予防対策としてご来訪の皆様には検温などご協力いただくこともご了承ください。



社会福祉法人一誠会

<https://www.kairakuenhome.or.jp>

ISO9001 認証取得



職員募集中!

現在一誠会では、職員募集を行っています。募集中の職種や、待遇などは下記のQRコードからご覧ください。

また、一誠会のウェブサイト、SNSは左記のQRコードからどうぞ。

採用情報



特集

施設の枠を越えて広がる学びとつながり

「職員の対外活動が生み出すネットワークと、より良いケアへの挑戦」

社会福祉法人一誠会では、施設内の取り組みにとどまらず、各種団体への参加や職員の対外活動にも力を入れています。現場の経験を外へ、外の学びを現場へとつなげ、組織としての成長を図っています。



職員が施設の外に出て得る学びや刺激は、知識と視野を広げ、若手職員の成長を促し、次代を担う人材育成やチーム力の向上、サービスの質の向上に循環します

他団体との連携と役割

一誠会が加盟する主な団体には、東京都高齢者福祉施設協議会、全国老人福祉施設協議会、八王子施設長会などがあり、水野常務理事をはじめ多くの職員が役員として参画しています。

こうした対外活動は、最新の情報共有や制度理解に加え、他施設とのつながりを築く重要な場でもあり、日々のサービースに直結する視点や気づきを得る貴重な機会となっています。

実践の場での学びと発信

去る6月12日(木)～13日(金)に開催された「関東ブロック老人福祉施設研究総会・アクティブ福祉in東京'25合同大会」では、職員が運営係員として活躍し、さらに3題の研究発表を行いました。

日々の実践に基づいた内容を外部へ発信することで、職員一人ひとりの視野が広がり、自信や成長にもつながります。こうした発表の積み重ねが、法人全体の専門性と質の向上につながります。

ていきます。

なぜ、施設外での活動が必要か

施設運営だけで完結せず、社会とつながり続けることが、福祉現場における柔軟さと新しさを生み、変化の激しい時代の中で、ご利用者によりよい支援を届ける力となります。一誠会では今後も、学び合い・支え合いのネットワークを大切に、地域と福祉の未来とともに築いていく歩みを続けてまいります。



東京都高齢者福祉施設協議会では、水野常務理事の他、鷹野施設長、山口統括介護課長も役職に就いています。外部での学びや交流は、職員の成長を促し、現場の力となる「育てる福祉」を実現する大切な機会です

一誠会の理事ならびに理事長が正式に再任決定!

速報!

去る6月21日(土)、社会福祉法人一誠会において定時評議員会が開催され、理事の選任が行われました。

続く理事会においては、理事の互選の結果、鈴木康之理事が理事長に再任されました。

また、業務執行理事として、水野敬生理事が引き続き常務理事を務めることになりましたのでご報告します。



理事一人ひとりの真摯なまなざしに、一誠会の未来への責任と想いが込められています。会議室に流れる静かな熱意が印象的でした

社会福祉連携推進法人 共栄会通信

『函館・戸井福祉会で開催! 次世代研修の学び』

「初の北海道開催で視野と連携がさらに広がる」

去る6月2日(月)～4日(火)の3日間、北海道函館市の戸井福祉会で「第3回次世代管理職研修」が初めて開催されました。

講師に株式会社エイデル研究所の丹羽勝氏を迎え、一誠会・五常会・戸井福祉会の3法人の職員が参加して行われました。リーダーの心構えや経営課題の分析、グループワークを通じて学びを深めました。雄大な海を望む地での実践的な学びは、今後の施設運営に大きな気づきをもたらしました。



研修受講中の職員たち。学び合い、考え合い、現場を変える力を身につけます



戸井福祉会前に広がる津軽海峡。海を望む環境が学びの集中力を高めます

季節に合わせた快適な入浴支援を強化中！

私 達「高齢者在宅サービスセンター中野」では、これから蒸し暑くなっていく時期に向かって「入浴サービス」の充実に力を入れています。

大浴場やチェアーインバス、個室浴など、ご利用者の皆様のお身体の状態やご希望に合わせた入浴方法をご用意しており、汗ばむ季節にさっぱりとお過ごしいただき、清潔で気持ちのよい生活を送っていただけるよう支援しています。

ご自宅での入浴が難しい方だけでなく、「もっとお風呂に入りたい」「これまで遠慮していたけど、暑くなってきたので入りたい」といったご希望のある方も、どうぞお気軽に相談員や職員にお声がけください。

また年間を通して入浴では、皆さまにキレイになっていただくだけではなく、入浴そのものが楽しみになるよう、趣向を凝らして皆様をお待ちしております。



新しいチェアーインバスでもっと安心・快適。皆さんの笑顔のために職員も力を合わせます



ゆったりとした空間で心も体もリラックス。気持ちよく入れる時間が毎日の楽しみです

Column 1

アクティブ福祉in東京2025への参加



この大会では、実践または研究の内容をパワーポイントにまとめ、1題15分で発表します

去 る6月13日(金)、TOC有明で開催された「第20回 高齢者福祉実践・研究大会 アクティブ福祉in東京'25」において、一誠会は3つの事業所から口演発表で参加しました。

本大会は関東ブロック老人福祉施設研究総会との合同開催となり、6月12日(木)から実施されました。

Column 2

実習生の受け入れ



この実習を通して、介護福祉士の理解・介護に対する介護観の確立を目指すものです

去 る6月2日(月)から6月9日(月)までの期間、和泉短期大学介護福祉専攻科の介護実習生の受け入れをしました。この実習では、介護を要するご利用者と直接かかわることが初めての体験となります。

高齢者との関わりを通し、介護の喜びや楽しさを感じていただきたいです。

トップリレー



0～3歳で育む非認知能力と体験型保育の大切さ



社会福祉法人 一誠会
企業主導型保育所かいらくえん
園長
松田 裕美子

非認知能力とは、IQや学校のテストのように数値化できる認知能力に対して、目に見えない感情や心の動きといった数値化しにくい分野の能力のことを言います。

また、その土台は3歳ごろまでに作られるとされており、能力を育むうえで3つの柱として「意欲・意志・社会性」が挙げられています。

非認知能力が備わっているか否かが、その後の子どもの成長や生き方に大きな影響を与えることにもつながります。

私たちは、日々関わっている0歳

から3歳までの子どもたちが、他者と関わりながら、どれだけ多くの体験ができるかが重要であると考えています。

日常の保育の中では、異年齢の子どもたちで過ごしたり、高齢者や地域の方々と季節を感じながら一緒に楽しめるイベント、また畑で栽培した野菜を食べるまでの過程を体験するなど、小さい園ならではのさまざまな体験型保育を心がけています。

そして、いつか園での楽しかった体験を思い出してくれることがあれば、とても嬉しく思います。

Green Days



社会福祉法人 一誠会 広報誌
『グリーン・デイズ』2025.7 Vol.132

Contents

02 特集

施設の枠を越えて広がる学びとつながり
～職員の対外活動が生み出すネットワークと、より良いケアへの挑戦～

03

一誠会の理事ならびに理事長が正式に再任決定！
社会福祉推進法人

04 トップリレー

社会福祉法人 一誠会
企業主導型保育所かいらくえん 園長
松田 裕美子

05 from 八王子市高齢者在宅サービスセンター 中野

05 Column ①・②

偕楽園ホーム

06 from 特別養護老人ホーム

07 from 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

初音の杜

08 from デイサービス

09 from グループホーム

第二偕楽園ホーム

10 from 地域密着型特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所

11 from 看護小規模多機能型居宅介護事業所

12 from 企業主導型保育所かいらくえん

13 八王子市高齢者あんしんセンター 大和田
地域公益活動／苦情の窓

14 ご寄付・ボランティアのご紹介

私のボランティア活動
管理栄養士のお食事レシピ

15 介護の相談箱／編集後記

16 ロコの部屋／職員紹介～注目の人～
イベントスケジュール
地域交流会・地域福祉研修の開催

発行／社会福祉法人 一誠会

〒192-0005 東京都八王子市宮下町983番地

TEL：(偕楽園ホーム) 042-691-2830

(初音の杜) 042-691-8289

(第二偕楽園ホーム) 042-691-0913

(高齢者あんしん相談センター大和田) 042-649-3280

この日はスイーツ食へに行きた
いとのご希望で支援しました



介護保険外のサポートサー
ビスを提供しています。
ただし、これらすべてが
介護保険の枠内で対応でき
るわけではありません。介

介護保険外の支援で広がる安心の暮らし

は、ご利用者様一人ひとりの多様なニーズに対応するため、「定期巡回・随時訪問介護看護」「訪問介護」「夜間対応型訪問介護」など、24時間体制のサポートサービスを提供しています。

ただし、これらすべてが介護保険の枠内で対応できるわけではありません。介護保険外（自費）サービスです。

たとえば、通院同行に関するご相談がありました。現在は施設に入所されている方ですが、以前は在宅で定期巡回をご利用でした。その方から「通院したいが、施設に同行できる職員がいない。家族も都合がつかず、一人で行くのは難し

外出が生きがいと社会参加のきっかけとなり気分転換や健康維持につながっています



い」との相談がありました。こうしたケースでは、保険外サービスとして職員が通院に同行することが可能です。

また、買い物や銀行への外出時の付き添いなども行っております。

今後も、ご利用者の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、柔軟で細やかな支援を提供してまいります。

終活を通じて支える

「その人らしい最期」

看取り介護で

ご本人とご家族に寄り添う支援



本人とご家族と中心に看護師や介護職員、生活相談員、管理栄養士、ケアマネジャーなどといった多職種と会議を重ね、今後の過ごし方の思いや希望を伺います

もともとはお葬式やお墓、遺言、相続など「人生の最期に向けた準備」を意味していましたが、近年では「エンディングを通して、自分らしく生きることに重きが置かれるようになっていきます。

偕楽園ホームでは、人生の最期を支える取り組みとして看取り介護を実践しています。看取り介護とは、死が避け



医療職を中心に本人の不安や辛さなどに対しての気持ちをサポートし、不安の軽減に努めます

られないと判断された方に対し、身体的・精神的苦痛を和らげながら、尊厳ある生活を支援するケアです。

終活と看取り介護は、「最期まで自分らしく生きる」ことを支えるという点で深く結びついています。

「ご本人の「やりたいこと」

や「食べたいもの」に寄り添いながら、その人らしい時間を大切にしています。また、ご家族の不安や揺れる気持ちにも寄り添いながら、「これでよかった」と思えるような時間となるよう努めています。

人生の終焉は誰にも訪れるものだからこそ、私たちはご本人とご家族の想いを受けとめ、納得と安らぎのある最期をとともに歩んでいきたいと考えています。

【偕楽園ホーム定期巡回・随時対応型訪問介護看護】利用者募集中!

1カ月あたり定額で利用できるサービスです。介護職や看護師などによる定期的な訪問と随時の訪問を組み合わせ、24時間在宅で生活できることを支援するために必要なサービスを提供します。

◎訪問範囲：包括圏域の左入、石川、大和田、川口、中野まで伺います

◎対象となる方：要介護1以上

㊤ 社会福祉法人一誠会 偕楽園ホーム

〒192-0005 八王子市宮下町983番地

TEL 042-659-3366 FAX 042-691-8288 担当：安部、並木

ご利用料金（1カ月単位の定額制です）

定期巡回・訪問介護費（1割負担の場合）

要介護度	介護保険費用	利用者負担
要介護1	62,952円	6,295円
要介護2	112,357円	11,236円
要介護3	186,558円	18,656円
要介護4	235,995円	23,600円
要介護5	285,411円	28,541円

※自己負担割合は、所得に応じて1～3割と異なります。

園芸療法で広がる認知症ケアの可能性 ～育てて・作って・食べる喜びを実感！～

一誠会では、様々な認知症ケアの取り組みを行っています。ここでは、初音の杜のグループホームが行っている取り組みをご紹介します。



収穫の喜びのためにも、まずは体力が必要になります

園芸療法を行うことで、生活の質（QOL）の向上や、

認知症の進行を緩やかにするために草木や野菜を育てる取り組みです。

園芸療法の一つに「園芸療法」があります。これは、認知症の進行を緩やかにするために草木や野菜を育てる取り組みです。

園芸療法とは

認知症療法の一つに「園芸療法」があります。これは、認知症の進行を緩やかにするために草木や野菜を育てる取り組みです。

野菜を育てる過程や収穫の喜びは脳への刺激となり、認知症ケアにつながります。

グループホーム初音の杜では、屋上スペースを活用し、ご利用者に野菜を育てていただいています。

運動不足を解消し筋力を低下の予防、さらに収穫した野菜を料理することで手段的日常動作（IADL）を維持にも効果があるとされています。

また、認知症の症状として短期記憶は失われやすい一方、長期記憶は残る傾向があることから、土や植物に触れることで過去の体験が呼び起こされ、脳の活性化に役立つといわれています。

収穫した野菜で夕食づくり

脳と体を同時に使う料理は、認知症の進行を防ぐ効果があるとされています。また、生活の自立を助け、自信の回復にもつながる可能性があります。

グループホーム初音の杜では、収穫した大根を使い、ご利用者にお味噌汁を作ってもらいました。

自分たちで収穫した野菜での料理は会話も弾み、より美味しさを感じていただけたのではないかと思います。



材料を見て料理の完成までの工程を脳内で描きながら料理する。この一連が脳への刺激として有効といわれています



愛着や思い出のあるものは、楽しみや喜びへとつながります

ボランティア活動の意義



ご自身の趣味・特技も、社会貢献のために活用できます

また、新しいスキルを習得したり、異なる価値観に触れることで自身の視野が広がり、自己成長の機会ともなります。

支援合うコミュニティ形成は、地域社会の活性化や長期的な発展に貢献することにもなります。

まず、困っている人や地域社会に対して直接的な支援を提供するという社会貢献の側面があります。

また、新しいスキルを習得したり、異なる価値観に触れることで自身の視野が広がり、自己成長の機会ともなります。

支援合うコミュニティ形成は、地域社会の活性化や長期的な発展に貢献することにもなります。

まず、困っている人や地域社会に対して直接的な支援を提供するという社会貢献の側面があります。

また、新しいスキルを習得したり、異なる価値観に触れることで自身の視野が広がり、自己成長の機会ともなります。

支援合うコミュニティ形成は、地域社会の活性化や長期的な発展に貢献することにもなります。

まず、困っている人や地域社会に対して直接的な支援を提供するという社会貢献の側面があります。

また、新しいスキルを習得したり、異なる価値観に触れることで自身の視野が広がり、自己成長の機会ともなります。

支援合うコミュニティ形成は、地域社会の活性化や長期的な発展に貢献することにもなります。

ボランティア活動には多くの意義があるといわれています。

地域と家族で支える初音の杜のボランティア活動



つつじ祭りで屋台の手伝いをいただきました。ボランティア活動は、新たな人との出会いやつながりの機会ともなります



食事の配膳もお手伝いいただいています。ボランティアの方々の協力添えに支えていただいていると実感しています

私たちはデイサービスセンター初音の杜をはじめ、社会福祉法人一誠会では、地域社会への貢献と共生を品質方針として掲げています。

地域の方々が気軽にボランティアの場として、是非デイサービスセンター初音の杜をご活用いただければ嬉しく思います。

時には、初音の杜のご利用者のご家族からもボランティア活動のお申し出をいただけることがあります。大変ありがたいご縁として、食事支援（テーブル拭き、お茶入れ、配膳、下膳）などのボランティアとして活躍していただいています。

時には、初音の杜のご利用者のご家族からもボランティア活動のお申し出をいただけることがあります。大変ありがたいご縁として、食事支援（テーブル拭き、お茶入れ、配膳、下膳）などのボランティアとして活躍していただいています。

時には、初音の杜のご利用者のご家族からもボランティア活動のお申し出をいただけることがあります。大変ありがたいご縁として、食事支援（テーブル拭き、お茶入れ、配膳、下膳）などのボランティアとして活躍していただいています。

自然の中で育む、笑顔と安心の介護時間



第二偕楽園ホーム敷地内の花壇に種芋を植え入れるご利用者。「いっぱい植えたから、できたらみんなで食べたいね」



NPO法人「すずしろ22」の管理する貸し農園でいちご植え。園児たちも興味津々



自宅の庭になった柿で干し柿を作られるご利用者。「干し柿は洗柿から作るんだよ！あんた、そんなことも知らないの？」

自然豊かな八王子と、そこに暮らす人々の魅力

皆様もご存じのとおり、第二偕楽園ホーム看護小規模多機能型居宅介護事業所（以下、看多機）は、八王子市北部という住宅地と自然が調和した場所にあります。

ご利用者の中には、長年農業に携わってこられた方や、自然とのふれあいを大切にされている方が多くいらっしゃいます。

また、自然との日常的な

関わりは、五感を心地よく刺激し、脳を活性化させるだけでなく、身体機能の維持や精神の安定にも効果があるといわれています。

育て、収穫し、みんなで喜びを分かち合う

こうした背景をふまえ、第二偕楽園ホーム看多機では、日々のケアの中に自然体験を積極的に取り入れています。

施設敷地内の花壇をご利用者に開放することに加え、

近隣のNPO法人から農園をお借りし、企業主導型保育所からえんなど法人内の他事業とも連携し、種まきから収穫まで、ご利用者と一緒に汗を流し、季節の恵みを楽しんでいます。

「自然とふれあいながら過ごしたい」「収穫した野菜の喜びを、みんなで分かち合いたい」——そんな思いをお持ちの方は、どうぞお気軽に第二偕楽園ホームまでお声がけください。

【訪問看護ステーション】正看護師/理学・作業療法士募集中！

1日4件程度の余裕のある訪問で心を大切にしたりハピリをしませんか。当事業所には保育園もあり、小さなお子さんのいる職員も多数在籍。一緒にお仕事ができる仲間を募集しています。

㊤ 社会福祉法人一誠会 第二偕楽園ホーム 訪問看護ステーション
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-691-1867 FAX 042-691-1870 担当：山口



高齢者の脱水を防ぐための水分補給 ～第二偕楽園ホームの工夫～



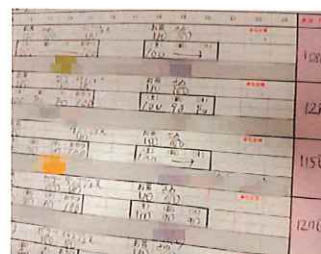
お茶のひとつにさりげない健康づくりを。こまめな水分補給が健康を守ります

いよいよ夏本番です。夏の暑い時期に心配なのが、やはり脱水症です。特に高齢者は「飲むとトイレが近くなるから」と、水分摂取を控える傾向があります。脱水対策として有効なのは、こまめな水分補給といわれています。

かかるよう記録を残し、1日の総水分量も把握できるようにしています。これにより、摂取量が少ない方には、翌日少し多めに飲んでいただくなどの工夫をしています。

さらに、提供する飲み物も何種類か用意し、ご利用者の希望に応じた提供ができる体制です。コーヒー、紅茶、ココアなど、夏はスポーツドリンクも揃えています。

しっかりと水分をとって、暑い夏を健康に乗り切りましょう。



ご利用者一人ひとりの水分摂取量についてチェックし、記録を残すことで、体調の変化にも気づけます

短期入所 生活介護事業所

熱中症対策としての ショートステイ利用

ショートステイを利用される理由はさまざまです。ご家族の仕事の都合や旅行、同居家族の急な入院などのほか、レスパイトのご利用も大歓迎です。

そして夏の時期に増えるのが、熱中症対策としてのショートステイ利用です。ご自宅にエアコンがなく心配な場合や、エアコンがあっても一人だと使い方がわからないケースもあります。

施設では空調が管理され、快適な環境でお過ごしいただけます。夏の暑さ対策としてショートステイのご利用はいかがでしょうか？



空調は集中管理されており、快適に過ごせます

『オレンジガーデニングプロジェクト in 大和田市民センター』を開催

オレンジガーデニングプロジェクトとは、「認知症になっても暮らしやすいまちを創っていきこう！」という共通の目標のもと、地域に認知症のシンボルカラーであるオレンジ色の花を咲かせる、全国的な認知症普及啓発プロジェクトです。

去る4月19日(土)に、大和田市民センターの花壇をお借りして、マリーゴールドの種まきと苗の植え付けを行いました。市民センター館長をはじめ、土いじりが得意な認知症の方、認知症サポーター、若者総合相談センターの職員など、多くの方々にご協力をいただき、オレンジ色に花壇を彩ることができました。

マリーゴールドの花言葉は「まごころ」「健康」といわれています。このプロジェクトを通じて、地域の皆さまと「まごころ」が通じ合い、誰もが「健康」に過ごせる、安心して暮らせるまちづくりが進むことを願い、今後も活動を継続してまいります。



皆さんの手慣れた作業に『あっぱれ』でした



植え付け1か月後、すくすく元気に成長中です！

地域公益活動

地域福祉研修

去る6月25日(金)、偕楽園ホームにおいて令和7年度第1回地域福祉研修を開催しました。今回は、社会福祉法人友愛十字会特別養護老人ホーム 友愛荘の鈴木健太施設長をお招きし「生産性向上を通じて実現する、働きやすい介護職場づくり」というテーマで講義いただきました。

介護現場を「働きやすい職場」にしていくための多くのヒントを得ることができました。



外部の施設からは、社会福祉推進法人の2法人に加え、特養や他の事業所の職員がリモートや来賓で参加いただきました。

苦情の窓

ご利用者の声を力に！第三者委員会で苦情対応を見直し

令和7年5月21日(水)、第二偕楽園ホーム2階会議室にて、苦情解決第三者委員会を開催しました。

苦情の適切な解決は、ご利用者の満足感を高めるだけでなく、個人の権利を擁護し、福祉サービスを適切に利用することにもつながります。

そのため、苦情を密室化せず、社会性と客観性を確保したうえで、ルールに基づいた方法で解決を図ることが重要です。

これにより、円滑かつ円満な解決が促され、事業者の信頼性と適正性の確保にも結びつきます。



野菜作りで育む子どもの食育と地域交流



大収穫のいちご狩り体験。ちゃんと赤い実だけを選んでいました



収穫した野菜は、自分たちで調理の先生に「お願いします」と渡し、食後は「美味しかった！とお礼を忘れません



梅雨の時期で雨や猛暑を気にしながらしゃしゃりも出て来ませんでした。フライドポテトや芋もちにしてみんなで食べました

「食育としての体験」から「地域とのつながり」へ

昨年末から、駐車場隣地の貸農園を借り、第二偕楽園ホームと一緒に野菜作りを始めました。

まずは隣の畑の方に分けていただいたいちごの苗を冬に植えることからスタートし、現在は夏野菜の栽培に取り組んでいます。

野菜が少し苦手な子どももありますが、自分たちで種をまき、育て、収穫し、調理の下準備まで体験することで、苦手意識の克服にも

つながっています。

地域の支えと共に育てる楽しみ

とはいえ、野菜作りはわからないことも多く、試行錯誤の毎日です。

それでも、近くの畑の方や農園を管理するNPO法人の皆さんから助言や手助けを受け、楽しく学んでいます。

5月にはいちごが大豊作となり、そのまま食べたり、ジャムに加工して味わいました。

6月には、じゃが芋を施

設のご利用者と一緒に収穫し、地域の未就園児家庭も招いて試食会を実施。給食にも取り入れ、さまざまな調理法で美味しくいただきました。

地域と育む「収穫祭」へ向けて

これから秋にかけて、トマトやピーマン、スイカなどさまざまな野菜の収穫を予定しています。

地域の皆さまとともに「収穫祭」の開催を目指し、準備を進めています。

どうぞお楽しみに。



園児募集中

0歳から2歳

介護・医療従事者の役割的な勤務体系にも対応し、土曜保育(要相談)、1日4~5時間、週2~3日といった短時間の受け入れも可能。ご相談受け付けます。

産休明け~満1歳未満	8:30~16:00	※保護者の勤務時間による
満1歳以上	7:30~18:30	

アレルギー・障害児保育：応相談
延長保育 18:30~20:30：要相談(別途料金がかかります)

社会福祉法人一誠会 企業主導型保育所 かいらくえん
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-691-1668 メール hoiku@kairakuenhome.or.jp

